

北森カレッジにおける 人材育成



北海道立北の森づくり専門学院

北森カレッジの概要

概 要

名 称	北海道立北の森づくり専門学院（略称：北森カレッジ）		
開 校	令和2年4月		
場 所	旭川市西神楽（道総研・林産試験場に併設）		
運営形態	専修学校（卒業時に専門士の称号を付与）		
就学要件	道内の林業関係企業等への就業を希望する者で ・高校卒業程度の学力を有する ・入学時に40歳以下		
修学期間	2年間	学年定員	40人
学 費 等	授業料・入学料等→約34万円／2年 教材・被服、資格取得の費用別途→約85万円／2年		

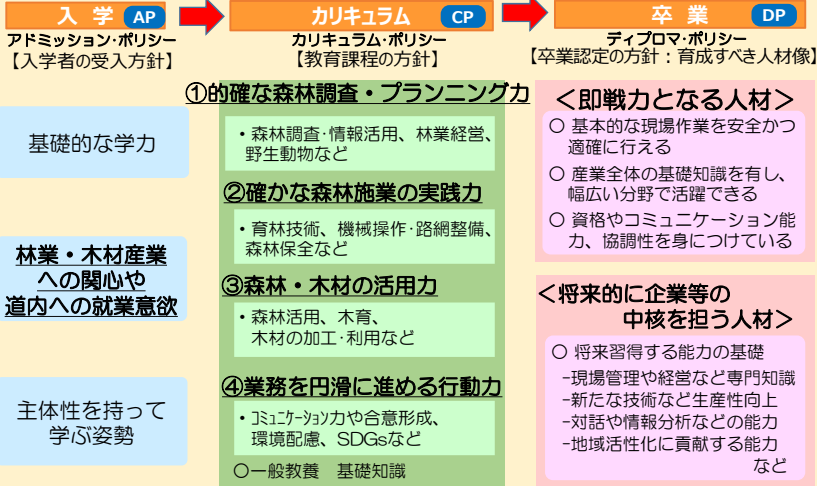


旭川市

教育システム

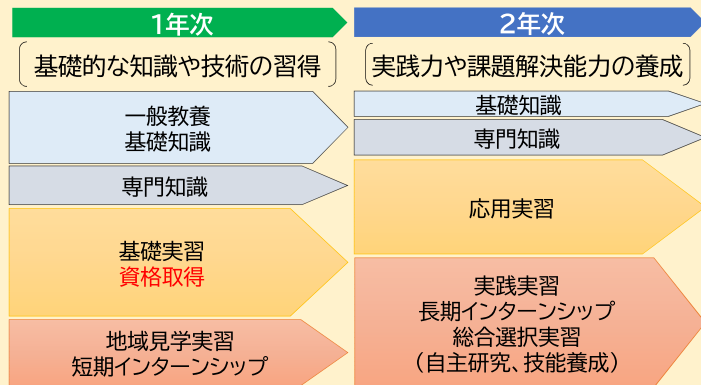
- 道内の林業・木材産業に就業を希望する人材を道内外から幅広く確保
- 入学から卒業までの一貫した教育システムに基づき、専門的な知識・技術を習得
- 道内各地に就業・定着し、地域の林業・木材産業に貢献する人材を育成・輩出

3つの方針



道内各地の林業・木材産業関係
企業等へ就業・定着

教育課程

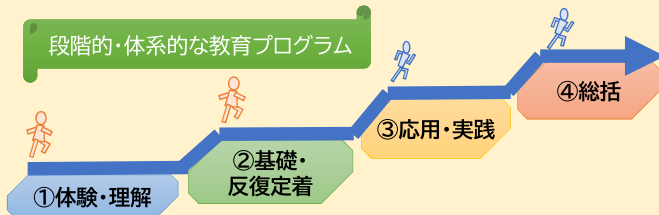


令和4年度の教育課程

(単位：コマ数：90分/コマ)

区分	講義	実習	実習割合
1学年	216	420	66%
2学年	140	534	79%
合計	356	954	73%

段階的・体系的な教育プログラム



最大15の資格を取得可能

・刈払機取扱作業、伐木等業務従事者、玉掛け、車両系建設機械(整地等)運転(3t以上)、走行集材機械運転業務、簡易架線集材装置等運転業務、伐木等機械運転業務、不整地運搬車運転、荷役運搬機械等によるはい作業従事者、木育マイスター など

北森カレッジの授業内容

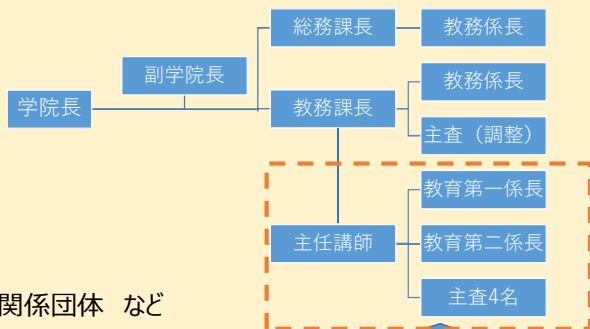
分野	第1学年	単位	第2学年	単位
基本能力	情報処理、フィールドワーク	2		
森林科学	森林・林業概論1、樹木学	3	森林・林業概論2、森林環境科学	3
森林経営	森林調査、森林ICT1、森林経営1	5	森林ICT2、森林経営実習、森林・林業施策形成、森林施業プランニング	5
施業技術	施業技術1、種苗技術、育林実習、森林被害防除	4	施業技術2、育林実習2、施業技術実習	4
林業機械	林業機械、労働安全衛生、資格A、資格B、刈払実習、伐木造材実習1、林業機械実習1	18	資格C、資格D、伐木造材実習2、伐木造材実習3、林業機械実習2、林業機械実習3、林業機械メンテナンス実習	8
路網整備	森林路網1	1	森林路網2、森林路網3	2
木材利用	木材加工、木材流通・木材利用1	2	木材利用2、木材流通コーディネート	2
森林活用			野生動物保護管理、特用林産、森林活用、資格E（木育）、野生動物植物保護管理実習	5
総合学習	キャリアデザイン、短期就業体験実習、地域見学実習	8	地域と森林・林業、長期就業実践実習、総合選択実習、フロンティア研修、企業内研修	23
合計		43		52

組織体制と教員、外部講師

【組織体制】

北の森づくり専門学院組織機構図（令和5年6月現在）

- 学院長をはじめ総務課・教務課を配置
 - ・ 総務課：庶務、経理及び施設整備・管理 等
 - ・ 教務課：教育プログラムの企画・調整、生徒募集、入学試験、生徒の進路指導、教員による講義・実習 等



【外部講師】

- 多彩な外部講師による実践的な講義実習
 - ・ 林業等の現場経験が豊富な企業等の職員
 - ⇒ 林業事業体、森林組合、林業機械メーカー、関係団体 など
 - ・ 専門的な知見を有する研究機関等の職員
 - ⇒ 道総研、北海道大学、酪農学園大学 など

外部講師は令和4年度は約150名※の方々に依頼
約560コマ（約4割）※を外部講師が担当
※インターンシップを除く

・ 教員は枠内の7名と4名の林業技術職員の合計11名
⇒ 林業普及指導員のほか、道有林整備事業経験者、民間経験者など豊富な現場経験を有する。

学 費

2年間でかかる費用 (令和5年度 概ねの必要経費)

学 年	入学科	授業料 (年間)	その他経費		合 計	
				内 訳		
1 年生	8,320円	163,200円	646,000円程度	生徒諸費※ 教材費 被服・道具(任意) 資格取得(選択)	461,000円 14,000円 100,000円 71,000円	818,000円程度
2 年生	-	163,200円	208,000円程度	生徒諸費※ 資格取得(選択)	100,000円 108,000円	372,000円程度
合 計	8,320円	326,400円	854,000円程度	-	-	1,190,000円程度

授業料等
34万円 程度

+

生徒諸費等
85万円 程度

+

・インターンシップ経費
(宿泊費・交通費)

※生徒諸費

傷害保険掛金、生徒会費、実習経費(宿泊・移動)、被服・道具(各自用意の物品を除く)、健康診断料、資格取得(必修)、蜂刺さされ対策費等 6

生徒が利用できる主な支援制度

種 類	支給額の目安 (年間)	道内 就業 限定	備 考
1-1 緑の青年就業準備給付金 1-2 修学環境整備給付金	1-1 R3:114万円/年 R4:142万円/年	1 - 2 ○	1-1は林業、1-2は木材産業等以外(公務員等)に就業した場合には全額一括返還
2 奨学金制度 (日本学生支援機構)	月額により 異なる		給付型・貸与型の2種類があり、給付型は1との併用不可
3 北海道林業・木材産業人材育成支援協議会給付金	概ね 10万円/年程度	○	道内の林業・木材産業(但し、市町村職員含む)に就業意志がある場合のみ給付

北森カレッジの授業の特徴

フィンランドとの教育連携による効果的な授業

北森カレッジは、本道と気候や植生などが類似し林業先進地であるフィンランドの「**リベリア林業専門学校**」と締結した覚書に基づき、**高性能林業機械の教育プログラムの開発**をはじめ、教員及び生徒の相互交流などの取組を実施。

※ 覚書の内容：①オペレータの指導者への教育や教育プログラムの開発等
②生徒と教職員の相互交流、
③教育ノウハウの共有及び共同プロジェクトの構築 など



【林業先進地域のフィンランド教育ノウハウの共有】

○EduSolution

オンライン会議でリベリアの林業教育のノウハウを共有

R3年度

- ・カリキュラムの構築
- ・デジタルプラットフォーム
- ・シミュレータトレーニング

R4年度

- ・エルゴノミクス(人間工学)
- ・動画教材の活用

R5年度

- ・産官学の連携、伐採手法の両国比較



○EduCamp

リベリアの林業教育や先進的なフィンランドの林業・木材産業の研修

R4年度

- ・1月 企業関係者と教員・生徒がフィンランド訪問

R5年度

- ・6月 生徒10名がフィンランドを訪問、1週間の研修



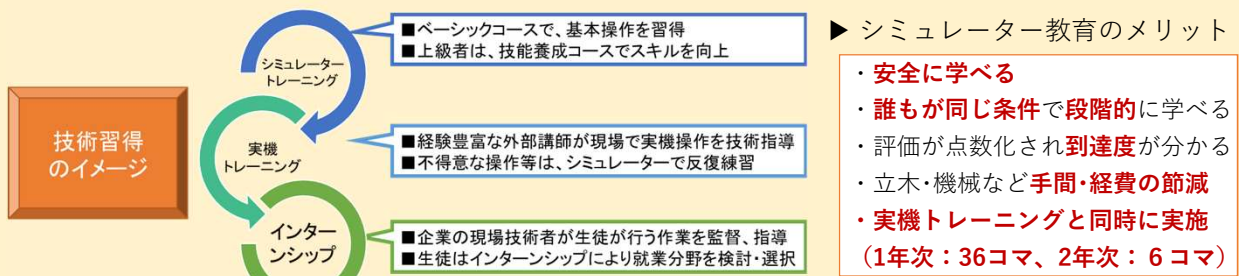
○シミュレータ競技大会開催

リベリアとオンライン対戦 (R4,R5実施)



北森カレッジの授業の特徴

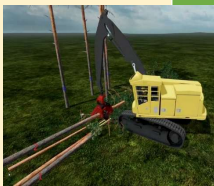
シミュレータを活用したオペレータ教育のイメージ



□ ハーベスタは5区分29課題、フォワーダは8区分38課題 60点以上で課題クリア

ハーベスタのプログラム

- D1 (立木伐倒)
- D2 (側方伐倒)
- D3 (前方伐倒)
- D4 (皆伐作業)
- F1 (FSC認証)



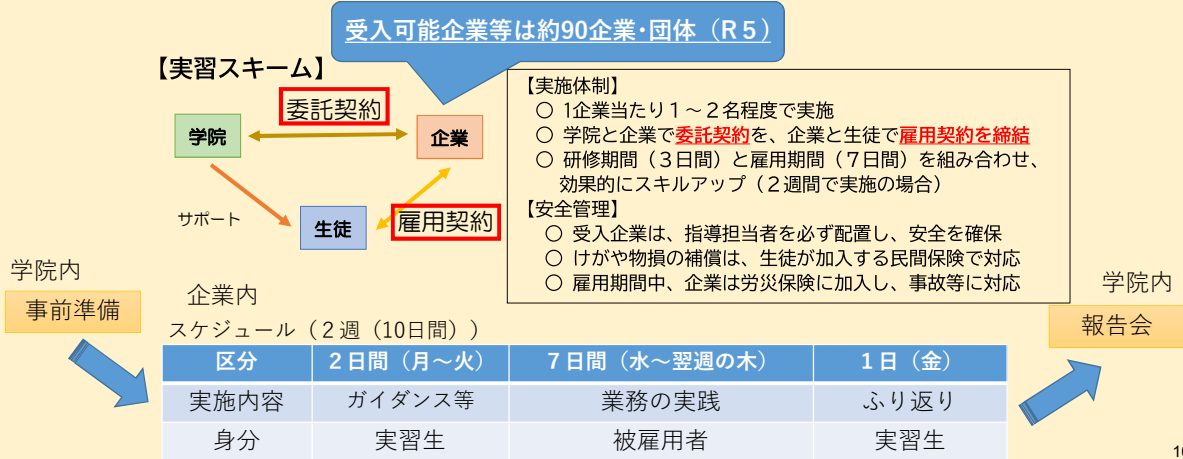
フォワーダのプログラム

- B1 (丸太の扱い)
- B2 (バンドルの取り扱い)
- B3 (丸太の集積)
- B4 (荷台への集積)
- B5 (荷台からの荷下ろし)
- B6 (集積からの丸太の分割)
- B7 (少量の積荷の集材と荷下ろし)
- B8 (集積材をまとめる効果)



実践力を養成する長期就業実践実習（コーオペ教育）

- 2年次に**2週間の長期就業実践実習を3回**実施
- 受入企業と**雇用契約を締結**し、現場作業等に従事し**高い実践力を養成**
- **受入企業**も、採用も見据え、受け入れた**生徒の知識・技術を確認できる機会**



専門性を高めるカリキュラム

- 2年次は、即戦力としての専門性を高める選択科目で実践力を養成
 - 総合選択実習を92コマ、4コース設置。
 - 夏期、冬期休暇中に集中実習を5コース設置。

総合選択実習

- 技能養成コース**
 - ・チェーンソー伐木技術、高性能林業機械操作等の高い技術・技能を養成（20名程度）
- 自主研究コース**
 - ・林業・木材産業の課題を主体的に研究し、分析や考察する能力を養成（5名程度）
- 経営者育成コース**
 - ・会計や経営戦略など企業経営に関する基礎知識と実務能力を養成（10名程度）
- 地域活性化コース**
 - ・森林・林業・木材産業の知識等を活用し地域活性化に資する能力を養成（5名程度）

集中実習

- 森林施業プランニング**
森林施業プランナー
- 森林路網3**
森林作業道作設
- 企業内研修**
実践的な伐木技術
- 林業機械メンテナンス実習**
部品交換などメンテ
- 木材流通コーディネート**
木材評価や木材流通

入試方法

【募集方法】

- (1) 推薦入学試験
在籍する学校の長、又は道内の林業・木材産業関係企業の長が推薦する者を募集
- (2) 一般入学試験
 - 一般選考：道内外の新卒者などを募集
 - 社会人選考：転職希望者やUIターン希望者などを募集

【入学試験に関する日程表】（令和5年度）

試験区分（種別）・会場		日程		試験内容
推薦入学 (旭川・札幌・帯広・東京)		出願期間	令和5年9月27日(水)～10月11日(水)	面接のみ
		実施日	令和5年10月23日(月)	
		合格発表	令和5年11月2日(木)	
一般入学	一般選考 (旭川・札幌・帯広・東京)	第1回	出願期間 令和5年10月11日(水)～11月1日(水)	小論文、面接
			実施日 令和5年11月13日(月)	
			合格発表 令和5年11月24日(金)	
	第2回	出願期間 令和6年1月4日(木)～2月7日(水)		
		実施日 令和6年2月18日(日)		
		合格発表 令和6年2月28日(水)		
社会人選考 新	第1回 (オンライン)	出願期間	一般選考(第1回)と同日	面接のみ
		実施日	令和5年11月12日(日)	
	第2回 (オンライン)	出願期間	一般選考(第1回)と同日	
		実施日	一般選考(第2回)と同日	

入学生の状況

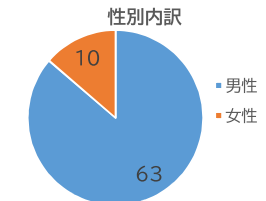
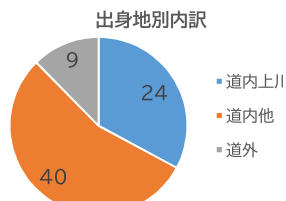
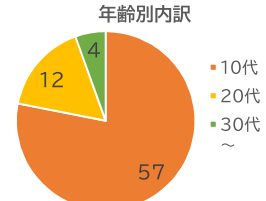
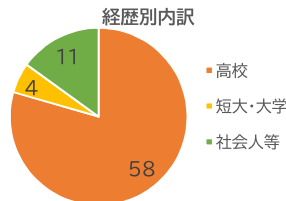
- 令和3、4年度入学生は、定員の**40名**、**その他の年度は定員の約9割を確保**
- 道内外から、**様々な年代や経歴**の生徒が入学（大学、企業、行政機関など）

入学試験の状況

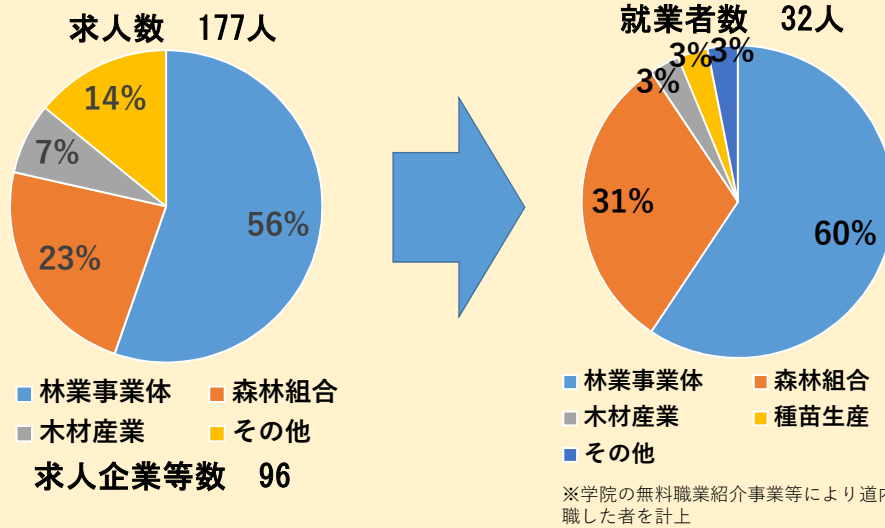
令和5年度の生徒内訳（1年生34名、2年生39名計73名）

区分	推薦	一般	合計	受験
R2年度	9 (2)	25 (2)	34 (4)	37 (4)
R3年度	31 (13)	9 (1)	40 (14)	47 (15)
R4年度	20 (4)	20 (0)	40 (4)	44 (5)
R5年度	20 (10)	14 (4)	34 (14)	41 (15)
合計	80 (29)	68 (7)	148 (36)	169 (39)

※ () 内は農業高校等の卒業生で内数。



卒業生の状況（令和4年度）



就職先

○ 令和4年度実績 ()は学校を介さず就職したもので就職数に含まない

振興局	企業数	求人数	就職数	企業等名
空知	7	12	3	堀川林業(株)、北空知森林組合、矢田木材(株)
石狩	11	25	2	厚田産業(株)、(一財)北海道森林整備公社
後志	3	5	0	
胆振	1	2	0	
日高	7	14	3	三井物産フォレスト(株)平取事務所、王子フォレストリー(株)、ひだか南森林組合
渡島	6	12	4	北海殖産(株)、はこだて広域森林組合、(株)ハルキ、(前田林業(株))
檜山	1	4	2	(株)細畑林業
上川	20	32	9	(有)竹内山林緑化農園、(有)久保木材、(株)ニチモク林産北海道、美瑛町森林組合、北日本木材(株)、上川北部森林組合、昭和木材(株)、士別地区森林組合、(西出木材(有))
留萌	0	0	0	
宗谷	1	2	0	
オホーツク	13	25	3	国安産業(株)、滝上町森林組合、江本木材産業(株)
十勝	15	29	5	三井物産フォレスト(株)帯広山林事務所、更別森林組合、(株)イエツネ林業、西十勝森林組合
釧路	7	9	1	高坂林業(株)
根室	4	6	0	
道外	0	0	0	
合計	96	177	32	

内定率 100% (32人/32人)、進路決定率97% (35人/36人)